

論文講評

## 太田慎吾「二つの視点から見る民泊

### ～なぜ民泊人気が沸騰しているのか～

タイトルにある「二つの視点」とは、民泊を経営する側と利用する側それぞれの視点から民泊について考えるという意味です。

最近の外国人観光客の伸びや、3年後のオリンピック・パラリンピックを控えて、民泊は鮮度の良い、時宜を得た論文のテーマだと感じます。

ただ、極めて新しいテーマのため、民泊に関する先行研究や法令、統計資料に限られ、何をどう調べればよいのかを見つけるのが難しいのが難点でした。筆者は資料収集に苦労しつつも、なんと2つの異なるタイプの民泊に自ら宿泊し、その民泊の経営者にインタビューを行いました。何事も百聞は一見に如かずで、実体験によって得られた知識は極めて説得力があります。2つの異なるタイプ（都市型、体験型）の民泊に泊まったことで、民泊の多様性も浮き彫りになりました。

他方、単なる“民泊体験記”にとどまらず、民泊が登場し流行した背景や、民泊の抱える課題、ビジネスモデルにもきちんと配慮と目配りが行き届いています。

民泊に対する法規制はまだ充分整備されていないので、今後どのような道をたどるのか注目していきたいと思います。